

# ハンガリー経済・金融概況

## Main Economic & Financial Indicators (Hungary)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufg.jp)

概況	消費
<p>ハンガリー景気は、内需を支えに回復基調を維持しているが、年後半に掛けて勢いが鈍化してきた。2014 年第 3 四半期の実質 GDP 成長率は、前期比+0.5%（前年比+3.2%）となり、2 四半期連続で減速した。主要輸出先であるユーロ圏の景気低迷を受け、輸出の勢いに陰りがみられるほか、総固定資本形成の伸びも政府支出の凍結に伴う公共投資計画の先送り等から減速傾向にあるなど基調は弱まっている。一方、個人消費は、夏場にかけて一旦弱含みがみられたが、比較的安定した労働市場に支えられて底堅く推移している。</p> <p>政府は 2015 年の財政赤字を対 GDP 比 2.4%とし、今年の前半の目標値の同 2.9%からさらに縮小することを明示した。一方で子供を持つ世帯への補助金や年金支給額の引き上げ、新婚世帯に対する免税措置、雇用促進政策などを予定しており、これらが実現すれば、消費を支える要因となろう。ただし、こうしたポピュリスト的な施策の財源は、銀行、通信会社など外資系企業が多くを占める部門への特別課税に求められる可能性が高く、政府の変則的な課税政策が投資抑制要因となる可能性もある。また、不良債権比率の上昇等を背景に銀行貸出の縮小が続くなか、中銀は 2013 年 4 月に導入した中小企業を対象にした貸出優遇策の延長を決定した。</p>	<p>10 月の実質小売売上（営業日調整済）は、前年比+5.2%と 8 月の同+2.5%をボトムに緩やかながら持ち直してきている。家計のマインドをみると、11 月の GKI-Erste 消費者信頼感指数は▲19.4 と、4 月のピーク（▲15.3）からは低下しているものの、比較的高い水準に踏み止まっている。ロシアに対する経済制裁強化が景気の先行きに対する懸念を強めた一方、雇用環境の改善がマインドの支えとなっている模様である。8-10 月の失業率は 7.1%（末季調値の 3 ヶ月平均）となり、前年同期から 2.7%ポイント低下した。</p> <div data-bbox="826 667 1455 1070"> <p>(%ポイント) 消費者信頼感</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>
GDP	物価、金融政策
<p>2014 年第 3 四半期の実質 GDP 成長率は前期比+0.5%となり、前期（同+0.8%）から減速した。需要項目別の内訳をみると、家計のマインド慎重化等を背景に、個人消費の伸びは同+0.1%に鈍化した。また総固定資本形成は、2007 年～13 年期の EU 予算割当分の拠出金消化に伴うインフラ事業が牽引し堅調が続いたが、第 3 四半期の伸び率は同+3.0%と、年前半の平均（同+3.8%）を下回った。外需は、輸出が同+1.1%と前期（同+3.0%）から減速した一方、輸入が同+0.1%とほぼ横ばいに止まった結果、純輸出の寄与度はプラスとなった。</p> <div data-bbox="124 1377 774 1780"> <p>(前期比、%) 実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>	<p>11 月の消費者物価上昇率は前年比▲0.7%と、3 カ月連続でマイナスの伸びとなった。2013 年末以降実施された、光熱費の強制引き下げの影響により、電力・ガス料金が前年比 10%超下落し、インフレ率を 1%ポイント強押し下げている。また、ロシアの食料輸入禁止措置に豊作も加わって農作物の供給が過剰気味となるなか、食料品価格も下落している。</p> <p>先行きは、電気・ガス料金等の規制価格引き下げの影響剥落が見込まれる一方、足元で進行している原油安の影響波及が物価の押し下げ要因となろう。インフレ率がプラス圏に戻るかについては、雇用環境改善に伴う、今後の賃金動向がポイントになるとみる。</p> <p>中銀の金融政策委員会は 12 月 16 日、政策金利を 2.1%で据え置いた。3 カ月連続の消費者物価の下落に原油価格急落が加わり、追加利下げ観測が高まっていたが、中銀は現状の政策維持を決定した。国際金融市場において先行き警戒感が強まるなか、新興国市場からの資金流出の可能性を考慮し、慎重な判断を行った模様である。</p>
生産	外貨建て個人ローンの転換
<p>10 月の鉱工業生産は前年比+1.7%と、稼働日調整後ベースでは 2013 年 8 月以来の低い伸びとなった。年前半まで同+20%超の高い伸びを続けてきた、自動車等の輸送機器部門の生産が減速しており、10 月は同+5.1%に止まった。また、食料品・飲料や電子機器などの生産も僅かながら前年を下回った。一方、11 月の製造業購買担当者指数（PMI）は 55.1 と夏場以降若干改善しており、とくに新規受注指数は 62.6 と 2011 年初以来の高水準となった。もっとも、主要輸出先であるドイツを始め、西欧経済の先行き不透明感が根強いなか、生産の動向については当面予断を許さない状況が続こう。</p>	<p>11 月、家計の為替リスク低減のため、外貨建て個人ローンをフォリント建てに転換する法案が成立し、転換レートは 11 月 7 日の公式レート（1 ユーロ=308.87 フォリント、1 スイスフラン=256.60 フォリント）と定められた。近年実施された他の外貨建てローン救済策とは異なり、過度に家計を優遇するレートとはならなかったが、転換後のフォリント建てローンの金利は政策的に低く抑えられる。そのため、家計にとっては負担軽減、銀行には負担増となる見込みである。</p> <p>足元、家計の外貨建てローン残高は 3.5 兆フォリント相当（140 億ドル程度、住宅ローン 1.7 兆フォリント、消費者ローン 1.8 兆フォリント）に上り、家計向けローンの半分以上を占める。為替リスク低減が家計のマインドにプラスに働けば、消費を支える一因となろう。なお中銀は、この措置に伴う銀行の外貨需要増に対し、外貨準備を使って対応する方針である。</p>

## ハンガリー経済・金融概況

### 1. 年、四半期

	2011	2012	2013	13/Q3	Q4	14/Q1	Q2	Q3
名目GDP実額 (10億米ドル)	139.4	126.8	133.5	34.2	37.2	31.4	35.1	35.1
実質GDP成長率 (q/q, %)	1.8	▲ 1.5	1.5	1.0	0.9	0.9	0.8	0.5
(y/y, %)				2.2	3.2	3.7	3.9	3.2
(民間消費支出) (q/q, %)	0.8	▲ 2.0	0.0	0.3	0.4	0.6	0.5	0.1
(y/y, %)				▲ 0.5	0.8	1.3	2.6	1.0
(総固定資本形成) (q/q, %)	▲ 2.0	▲ 4.1	3.7	4.1	3.6	4.1	3.5	3.0
(y/y, %)				8.1	11.4	19.6	18.4	13.2
鉱工業生産 (y/y, %)	5.6	▲ 1.8	1.1	1.8	5.2	7.5	10.4	6.7
実質小売売上(営業日調整済み) (y/y, %)	0.3	▲ 1.9	1.6	2.7	4.8	7.1	5.1	3.2
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	▲ 0.1	▲ 13.2	▲ 4.2	▲ 2.6	▲ 4.2	▲ 4.5	▲ 2.3	▲ 3.6
消費者物価上昇率 (y/y, %)	3.9	5.7	1.7	1.5	0.7	0.1	▲ 0.2	▲ 0.1
平均賃金上昇率 (y/y, %)	5.2	4.7	3.4	3.9	3.0	1.9	4.3	2.6
失業率* (%)	11.1	11.1	10.4	10.0	9.4	8.5	8.1	7.7
貿易収支* (百万米ドル)	9,842	8,523	8,708	2,360	2,282	2,562	1,931	2,259
輸出額 (百万米ドル)	111,218	102,830	108,015	26,911	28,464	28,315	29,060	29,009
輸出伸び率 (y/y, %)	17.4	▲ 7.5	5.0	8.1	9.7	8.6	9.3	8.7
輸入額 (百万米ドル)	101,375	94,308	99,307	24,551	26,182	25,754	27,129	26,750
輸入伸び率 (y/y, %)	15.9	▲ 7.0	5.3	7.8	8.0	7.5	10.2	9.4
経常収支 (百万米ドル)	583	1,062	3,904	1,597	868	1,349	-	-
資本収支 (百万米ドル)	7,470	▲ 7,322	▲ 3,538	▲ 5,602	3,573	2,599	-	-
対内直接投資 (百万米ドル)	5,745	13,940	3,075	▲ 2,155.7	5,296.7	-	-	-
外貨準備高 (百万米ドル)	48,681	44,506	46,389	41,475	46,389	49,628	49,145	45,059
対外債務残高 (百万米ドル)	175,712	167,717	164,205	161,875	164,205	165,037	166,066	-
株価指数	20,502	18,060	18,652	18,535	18,625	18,056	18,421	18,031
短期金利(interbank BUBOR 3m) (%)	6.19	6.98	4.30	3.93	3.32	2.83	2.54	2.17
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields) (%)	7.64	7.89	5.92	6.08	5.73	5.82	5.02	4.55
Forint/USD	201.18	225.11	223.60	224.93	218.46	224.55	223.06	235.74
Forint/Euro	279.36	289.30	296.93	297.96	297.42	307.76	306.00	312.24
Forint/GBP	322.20	356.61	349.68	348.69	353.73	371.67	375.45	393.43

### 2. 月次

	14/04	5	6	7	8	9	10	11
鉱工業生産 (y/y, %)	9.7	10.2	11.4	12.2	2.8	5.2	1.7	-
実質小売売上(営業日調整済み) (y/y, %)	6.3	4.9	4.1	2.5	2.5	4.5	5.2	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	▲ 3.3	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 2.4	▲ 3.6	▲ 2.8	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	0.1	0.2	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.7
平均賃金上昇率 (y/y, %)	4.1	5.0	3.7	3.1	2.2	2.4	-	-
失業率* (%)	8.1	8.1	8.1	8.1	7.7	7.4	7.1	-
貿易収支* (百万米ドル)	741	398	792	653	369	1,220	954	-
輸出額 (百万米ドル)	9,759	9,675	9,626	9,897	8,039	10,099	9,567	-
輸出伸び率 (y/y, %)	9.4	8.7	10.0	12.4	▲ 3.5	3.3	▲ 8.1	-
輸入額 (百万米ドル)	9,018	9,277	8,834	9,245	7,670	8,880	9,105	-
輸入伸び率 (y/y, %)	10.7	10.5	9.2	12.2	▲ 0.0	2.8	▲ 3.7	-
株価指数	17,794	18,534	18,936	18,090	17,589	18,371	17,520	17,400
短期金利(interbank BUBOR 3m) (%)	2.66	2.53	2.42	2.26	2.15	2.11	2.10	2.10
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields) (%)	5.56	5.01	4.50	4.33	4.73	4.59	4.21	-
Forint/USD	222.50	221.64	225.15	228.99	235.78	242.75	242.81	246.00
Forint/Euro	307.40	304.71	305.87	309.81	313.91	313.20	307.85	306.89
Forint/GBP	372.61	373.32	380.67	390.86	393.77	395.79	390.15	388.21

(注)失業率は3カ月移動平均。貿易収支は通関データ。

(資料)ハンガリー統計局、ハンガリー中央銀行、Macrobond 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいませ。宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。